

EU Indicators

発表日: 2024年4月4日(木)

欧州経済指標コメント: 3月ユーロ圏消費者物価

～下振れしたが、6月を待てない程ではない～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 050-5474-7494)

- 3日に発表された3月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+2.4%と前月の同+2.6%から上昇率が一段と鈍化した。昨年10月以降、2%台で推移しており、ECBが中期的な物価安定と定義する2%にさらに接近した。速報段階で入手可能な内訳は、前年同月の反動からエネルギー価格（前月：同▲3.7%→今月：同▲1.8%）の下落率が縮小した一方で、生鮮食料品を中心に食料・アルコール飲料・たばこ価格（同+3.9%→同+2.7%）の上昇率が鈍化、変動が大きいエネルギー・食料・アルコール飲料・たばこ価格を除いたコア物価（同+3.1%→同+2.9%）も約2年振りに2%台に伸び率が縮小した。コア物価の詳しい内訳は、確報値の結果を待たなければならないが、エネルギーを除く工業製品価格（同+1.6%→同+1.1%）の上昇率が一段と鈍化した一方、サービス価格（同+4.0%→同+4.0%）が5ヶ月連続で同じ伸び率と高止まりしている。
- 国別の消費者物価（EU統一基準）は、エネルギー価格の反動を主因に、イタリア（同+0.8%→同+1.3%）やスペイン（同+2.9%→同+3.2%）などの上昇率が加速した一方、ドイツ（同+2.7%→同+2.3%）やフランス（同+3.2%→同+2.4%）などの上昇率が鈍化した。
- ユーロ圏の1～3月期の妥結賃金データは5月末に発表され、ECBはそれを確認したうえで6月の理事会で利下げを開始するのがコンセンサスとなっている。今回の物価計数はヘッドライン・コアともにECBの想定を上回るペースで上昇率が鈍化した。主に賃金動向が反映されるサービス価格の高止まりが続いている。4月理事会に利下げ開始決定を前倒しするには、十分なデータが揃っていないものと判断する。

■ユーロ圏: 消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏: コア消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

		2023				2024				2023				2024			
		2Q	3Q	4Q	1Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消費者物価	(前期比)	0.6	0.9	0.3	0.7	-0.1	0.2	0.3	0.5	0.3	0.1	-0.2	0.0	0.4	0.4	0.2	
	(前年比)	6.2	5.0	2.7	2.6	6.1	5.5	5.3	5.2	4.3	2.9	2.4	2.9	2.8	2.6	2.4	
コア消費者物価	(前期比)	5.5	5.1	3.7	3.1	5.3	5.5	5.5	5.3	4.5	4.2	3.6	3.4	3.3	3.1	2.9	
	(前年比)	12.5	9.8	6.8	4.1	12.5	11.6	10.8	9.7	8.8	7.4	6.9	6.1	5.6	3.9	2.7	
食料/アルコール/たばこ	(前期比)	13.7	10.3	6.8	-	13.7	12.6	11.6	10.3	9.1	7.5	6.9	6.1	5.4	3.3	-	
	(前年比)	9.2	7.8	6.1	-	9.2	8.8	8.3	7.8	7.2	6.5	6.4	5.5	5.2	4.3	-	
食料	(前期比)	6.4	7.3	7.1	-	6.3	6.8	7.1	7.3	7.4	7.5	7.3	6.5	7.6	8.5	-	
	(前年比)	-1.8	-4.6	-9.8	-3.9	-1.8	-5.6	-6.1	-3.3	-4.6	-11.2	-11.5	-6.7	-6.1	-3.7	-1.8	
エネルギー	(前期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(前年比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

